

2. 災害に備える

2-1 水害に備えた事前の心構え

避難について話し合みましょう

ステップ
1

まず、自宅の位置を確認しましょう。

氾濫した場合の、浸水の状況を確認しましょう。ご自宅のある場所が何色に塗られているか浸水ハザードマップで確認しましょう。



ステップ
2

次に、自宅付近の指定緊急避難場所を確認しましょう。

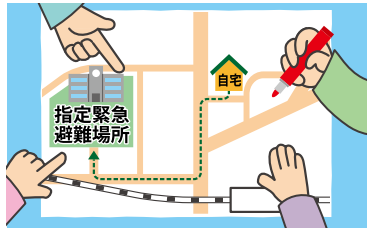
自宅に近い指定緊急避難場所を地図で確認しましょう。



ステップ
3

浸水箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

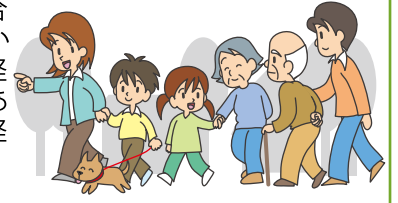
浸水が深い場所を避けて避難経路を設定しましょう。



ステップ
4

実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合には、避難経路を見直しましょう。



非常持出品を準備しておきましょう。

貴重品

- 現金
- 印鑑
- 保険証など



衣類 (季節に合わせて)

- 下着類
- 靴下
- 手袋・軍手
- 帽子
- セーター・レインウェア
- ひざかけなど



洗面用品

- 石けん
- 歯磨き用品
- タオルなど



赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- ほ乳びん
- おむつ類
- ベビーパウダー
- おもちゃなど



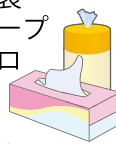
水・食料品

- 飲料水
- 各種食品 (缶詰・カップ類などの保存食)
- 子供のおやつなど



小物道具類

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- カセットコンロ・固形燃料
- 敷物
- 新聞紙
- 箸・フォークなど
- 栓抜き・缶切り
- 大小ビニール袋
- ひも・粘着テープ
- 使い捨てカイロ
- 生理用品
- ハンカチ
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 筆記用具など



医療品

- 常備薬
- 消毒液
- 包帯など
- マスク
- 体温計
- お薬手帳



災害時の食料備蓄法「ローリングストック」

「ローリングストック」とは普段から少し多めに食材や加工品を買っておき、食べた分だけ新しく買い足していくことで、常に定量の食材を備蓄する方法のことをいいます。

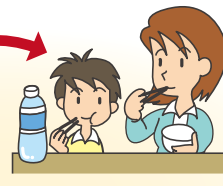
備える

非常時の備えとして、食品や水などを備蓄しておく。



食べる

備蓄した食品を定期的に消費する。賞味期限が短いものから食べるのがおすすめ。



補充する

食べた分の食品を買い足して補充する。このサイクルを続けることで、すべての食材が入れ替わり、常に一定量の食品を備蓄しておく。



■ 浸水被害から家屋を守る

台風や集中豪雨による浸水被害を最小限に抑えるためには、普段からの備えが大切です。

浸水発生時には「土のう」や「止水板」を設置することで、道路から家屋内への雨水の浸入を抑えることができます。



土のう

出入りに口に土のうを使用し、浸水を防ぎます。



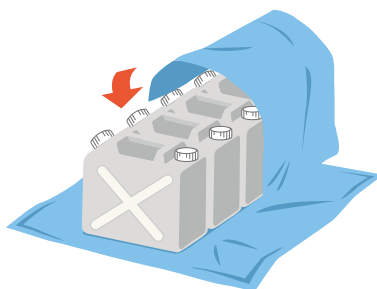
止水板

出入りに口に長めの板を使用し、浸水を防ぎます。

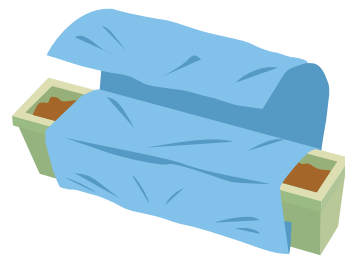
● 家庭にあるものを使って浸水被害を防ぐことができます



水を入れたビニール袋、段ボール箱とレジャーシートの組合せ

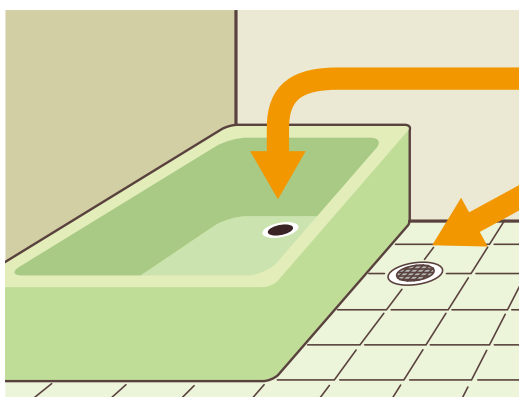


ポリタンクとレジャーシートの組合せ



プランターとレジャーシートの組合せ

● 意外なところから浸水が発生します



水のうの作り方

ゴミ袋 (45ℓ程度) を二重にし、中に半分くらいの水を入れます

お風呂や洗濯機などの排水口から逆流した水が溢れる場合があります。
水のうで栓をすることで防ぐことができます。